

福祉部の使命・役割を教えてください！



- 福祉部は、地域福祉グループ（8人）、介護保険・障がいグループ（10人）、福祉まるごと相談グループ（10人）、生涯現役まちづくりグループ（3人）、保健福祉グループ（14人）の5グループで構成し、「地域福祉に関すること」「生活困窮者の自立支援に関すること」「介護保険に関すること」「障害者福祉・母子福祉に関すること」「福祉に関する相談及び支援の総合調整に関すること」「生涯現役のまちづくりに関すること」「認知症予防に関すること」「健康増進に関すること」「母子保健に関すること」「子どもの発達に関すること」「予防接種に関すること」などに取り組んでいます。



福祉部長 加藤一志

- 福祉部は、市民のみなさまの「ふだんのくらしをシェアする」ためのお手伝いをします。子どもの健やかな成長、そして、生涯にわたる生活の安定と福祉の向上をめざし、全ての世代の健康増進を図るとともに、高齢になっても、障がいがあっても尊厳を持って暮らし続けられるよう応援します。

平成29年度上半期の成果・課題を教えてください！



医療分野では、刈谷豊田総合病院と市内診療所を結ぶ地域医療連携ネットワークにより、紹介時の診療予約や検査予約、診療情報の共有など病診連携が進んでいます。現在市では、医療と介護をつなぎ多職種連携を支える情報共有ネットワーク「えんjoy ネット高浜」の導入を進めています。市民の皆さんが住み慣れた地域の中で安心して暮らせるためのツールとして、年度内の運用を計画しています。

平成29年度下半期に向けて、市民の皆さんへ一言メッセージを！



高齢者の皆さんが自宅に閉じこもることなく、いきいきとした生活が送れるよう出かけたくなる場所、交流の場所として始めた「健康自生地」が99ヶ所まで増えてきました。

最近では、健康自生地の担い手として活躍いただける方も増え、生きがいづくりの場にもなっています。是非、健康自生地にお出かけください。

編集・発行

高浜市役所 企画部 総合政策グループ

TEL 0566-52-1111（内線 339） FAX 0566-52-1110

E-mail seisaku@city.takahama.lg.jp

発行年月 平成 29 年 11 月



「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」をめざして

平成29年度

高浜市では、こんなことに力を入れて取り組みます！

福祉部長の 実行宣言！

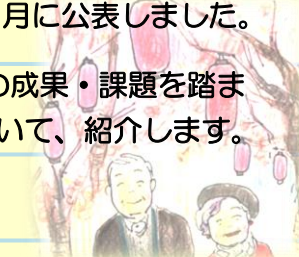


【上半期の振り返り&下半期のアクション】



- 高浜市では、「住んでよかった！」「いつまでも住み続けたい！」と思えるまちを目指し、行政だけでなく、市民の皆さんとともに、みんなで力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことを基本姿勢としています。
- まちづくりの第一歩は、まちの課題を知ること、情報を共有することから始まります。そこで「今、高浜市ではどんなことが課題になっているのか」「そのために、市役所ではこの1年間で、どんなことを重点的に取り組んでいこうと考えているのか」といった取組項目や推進の決意を「〇〇部長の実行宣言」として部局ごとにとりまとめ、5月に公表しました。

今回は、上半期（4～9月）の取組状況と、上半期の成果・課題を踏まえた下半期（10～3月）の具体的なアクションについて、紹介します。



平成29年度 福祉部では、こんなことに力を入れて取り組んでいます！【上半期の取組状況と下半期のアクション】

アクション1 地域包括ケアシステムを構築するための計画づくりを行います！ 【担当 介護保険・障がいグループ】

高齢者が、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるための仕組み（地域包括ケアシステム）が求められています。団塊の世代が75歳以上となる2025年、更には団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年に向け、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを深化、推進していくための「地域包括ケア計画」を作ります。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 現行計画を評価、検証します。また、現状把握、将来推計を行い、今後の取組みや保険料などについて検討します。
- ◇ 市民説明会やパブリックコメントをとおして、市民の方からの意見を募ります。
- ◇ 第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画を策定します。

順調

順調

順調

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 高齢者の現状把握、アンケートから見える課題の整理、現行計画の振り返りなどを行い、次期計画の骨子や基本理念などについて協議しました。
- ◇ 現場の声を踏まえた計画とするため、事業所を主体とした「ワーキングチーム」を設置し、検討しました。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 市民説明会及びパブリックコメントを実施し、市民の方からの意見を募ります。
平成30年1月までに実施
- ◇ 市民や事業所の意見を踏まえ、第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画を策定します。
平成30年3月までに実施

アクション2 医療と介護の連携を推進します！ 【担当 福祉まるごと相談グループ】

在宅で安心して暮らし続けることができるよう、医療と福祉関係者など多職種が連携して支える体制づくりが必要です。

新たにICTを活用した関係者間のネットワーク環境を構築し、医療と介護の連携強化を図ります。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 課題解決に向けた方策や情報共有を図るための連携協議会を開催し、ICTツール導入に向け検討を行います。
- ◇ ICT導入により医療と介護の連携を進め、多職種による情報共有の仕組みを作ります。
- ◇ 互いの役割や連携に対する手法について、研修会を通じて学び、顔の見える関係づくりを進めます。

6月完了

順調

順調

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 6月に協議会を立上げ、医療と介護をつなぐツールとして、ICTツール「えんjoyネット高浜」を導入することとしました。
- ◇ 医療と介護の連携に関する情報交換・懇談会を開催し、多職種が集まり、ネットワークの構築と運用について協議しました。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 連携推進協議会を通じて、関係者間のネットワークの強化を図ります。
平成30年1月までに実施
- ◇ 「えんjoyネット高浜」の運用を開始します。
平成30年2月までに実施

アクション3 生涯現役のまちづくりを進めます！ 【担当 生涯現役まちづくりグループ】

自宅への閉じこもりは、認知症の発症や要介護状態に陥るリスクが急速に高まります。外出して地域の皆さんと交流し、健康に生活するため、ホコタッチを上手に活用しながら、健康自生地へ出かけて、さまざまな活動に参加したくなる仕組みづくりを行います。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 情報誌「でいでーる」で小学校区ごとに健康自生地を巡るモデルコースを紹介します。
- ◇ 担い手や利用者からのアンケートをもとに、健康自生地の魅力を向上させ、活性化を図ります。

順調

順調

上半期を振り返って【成果・課題】

でいでーるでのモデルコース紹介、健康自生地フェスタでの活動を通じ、健康自生地への外出をPRしてきました。下半期は実際に健康自生地を巡っていただけるよう、健康自生地全体の魅力向上と活性化に取り組んでいきます。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 11月21日、28日に、吉浜地区の健康自生地を巡る「健康自生地ウォーキングツアー」を実施します。
11月までに実施
- ◇ 担い手や利用者からのアンケートを基に、健康自生地の魅力向上、活性化に向けた方策を検討します。
平成30年3月までに実施

アクション4 妊娠期からの切れ目のない支援を行います！ 【担当 保健福祉グループ】

核家族化などにより、育児に不安や負担を感じる妊産婦さんが増えています。身近な場所でママの思いに寄り添い、ママやその家族を応援する人が必要です。いきいき広場は、妊娠期から子育て期におけるワンストップ拠点として、子育て家庭を応援します。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 産後健診のストレスチェック項目を活用し、出産を終えたママの心身の健康を支援します。
- ◇ 乳幼児健診のアンケートに質問項目を追加し、「切れ目のない支援」体制を推進します。

4月完了

6月完了

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 4月から始めたストレスチェック項目の活用により、産後1か月健診でのママの心の健康状態を把握することができました。
- ◇ 看護大学の協力をいただき、6月から乳児健診受診者に子育て支援に関するアンケートを実施しています。今後はアンケートの集計そして分析・評価を進めていきます。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 産後健診時のストレスチェック項目を基に、より早い段階から保健師の相談支援につなげていきます。
平成30年3月までに実施
- ◇ 子育て支援に関するアンケートを継続して実施し、子育て支援の現状把握を進めていきます。
平成30年3月までに実施

